

# 白神山地世界遺産地域及び 周辺地域におけるニホンジカ対策の取組

— 計画課

近年、白神山地世界遺産地域（以下、「遺産地域」という。）及びその周辺地域では、ニホンジカの目撃情報が多くなっています。平成27年度は、27件31頭の目撃情報があり、1件は青森県側の遺産地域内（緩衝地域）において人の入り込み状況を確認するために設置したセンサーカメラに撮影されました。平成28年度の目撃情報は、11月18日現在34件40頭となっています。なお、遺産地域内でニホンジカ確認はありませんでした。

## センサーカメラによる生息状況の確認

東北森林管理局津軽白神森林生態系保全センター及び藤里森林生態系保全センターでは、平成26年度より遺産地域及び周辺地域にセンサーカメラを設置し、ニホンジカの生息状況を監視しています。平成28年度は青森県側に30台、秋田県側に26台の計56台（27年度より3台増）を設置しました。11月22

日現在のニホンジカの撮影状況は、15件15頭（すべてオス）で、27年度の4件4頭（すべてオス）に比べると大幅な増加となっています。この取組は11月中で終了しましたが、29年度も引き続き実施していく予定です。



遺産地域内で撮影されたニホンジカ

## 小型囲いわなによる試行的なニホンジカの捕獲

遺産地域及びその周辺におけるニホンジカの生息密度は低いものと考えられますが、遺産地域へニホンジカを導入させないことに努力するとの白神山地世界遺産地域科学委員会の基本的な考え方に立ち、将来を見据えてニホンジカの捕獲に向けた体制づくりを進める必要があります。このため、ニホンジカの捕獲の可能性を検証するとともに、捕獲に向けた普及啓発にも資する



設置したセンサーカメラ

よう、現在、青森県深浦町深浦と秋田県能代市二ツ井に小型囲いわなを設置しニホンジカの試行的な捕獲に取り組んでいます。



ニホンジカの試行的な捕獲に使用している小型囲いわな

## 今後の取り組み

今後の遺産地域及び周辺地域におけるニホンジカ対策の取り組みについては、白神山地世界遺産地域連絡会議構成機関と連携を図るとともに白神山地世界遺産地域科学委員会の指導・助言を受けながら遺産地域の保全に向け適切に実施していくとされています。